

小林西高三ツ星レストラン 今年はTENAMUビルで開店

7月20日、21日、27日、28日に小林西高調理科の3年生が三ツ星レストランをTENAMUビルで開店しました。数種類の新メニューを加えて、地元食材を使った料理をバイキング形式で提供。生徒らは、緊張した様子も見せながらも笑顔で来場者の接客などを行っていました。



小林西高3年の調理科は22名。5月から準備をはじめて開店を迎えました。来場者は色とり豊かな料理を堪能していました



救急車を利用するほどではない医療機関への搬送などで利用したい人は、福祉タクシーきずな (Tel. 44 - 2707) へ問合せください

西諸地域で初めての認定 患者等搬送事業者認定交付式

7月17日、西諸広域行政事務組合消防本部が福祉タクシーきずな (代表=四位純徳) を患者等搬送事業者に認定しました。同事業は、緊急性の低い患者などを病院などへ安全に搬送できる民間業者を認定する制度。高齢化に伴い増え続ける救急車の出動件数抑制などが期待されます。

市民と知事との意見交換 ふれあいフォーラムを開催

7月6日、知事と県民が対話を行う「知事とのふれあいフォーラム」がKITTO小林で開催されました。市内各種団体から33人が参加。消防団員確保のための広報活動の充実、地域医療への取り組み、スポーツビジネスのさらなる展開など、さまざまな課題について意見を交わしました。



参加者と意見を交わす河野俊嗣知事。外国人観光客誘致などについては「九州全体で連携していきたい」と答えていました



同協会との協定は、県、宮崎県警、宮崎市に次いで4か所目。消防本部に備蓄している3日分の非常食などを輸送します

災害発生初動期に備えて 緊急輸送等に関する協定締結

6月26日、災害発生初動期に物資輸送を円滑に行うことを目的に、西諸広域行政事務組合消防本部と県トラック協会が協定を締結しました。式で、同協会の牧田信良会長は「緊急時の物資輸送は重要なことで使命だと思っています。互いの連絡を保ちながら進めていきたい」と話していました。

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、三松地区

三松中学校区にきずな協働体を設立しました

6月30日(土曜)、小林市で6番目のきずな協働体「チームみまつ協働体」を設立しました。

基本理念は、三松中学校区で脈々と受け継がれてきた「三松魂」です。

困難や苦勞に負けず頑張り抜く強い気持ち、互いに助け合う優しい気持ちを表す「三松魂」を、育て・つなぎ・守ってい

くことで、住民が地域行事などに自然と参加しやすくなる地域づくりや、元気に安心して暮らせる地域づくりができると思っています。

地域にある祭りのにぎわい創出や岩戸神楽の伝統芸能の継承支援など、さまざまな事業を展開していきます。これからの活動に注目ください。



「三松魂」で頑張ります！
他の協働体も参考にしながら



チームみまつ協働体 田原尚紀会長

みんなで楽しく介護予防 ゴールデンエイジ大会を開催

7月14日、ゴールデンエイジ大会を野尻町農村環境改善センターで開催しました。簡単な体操などで介護状態になりにくい体づくりを行うことが目的で、約100人が参加。日常生活で簡単にできる筋力トレーニングの貯筋運動などを行い、参加者は笑顔で体を動かしていました。



講師のスマイルファイン企画秋元博子さんは、介護予防の重要性を簡単な運動を交えながら参加者に説明していました



季節ごとに趣向を凝らした内容で実施しているこのイベント。今回は七夕にちなんで、最後に笹飾り作成が行われました

読書とともに季節を体感 市立図書館で七夕まつり開催

7月7日、七夕まつりが市立図書館で開催されました。子どもたちに四季を感じてもらうことが目的で、未就学児から小学生まで約40人が参加。織姫と彦星について劇を交えた読み聞かせやエプロンシアターなどがあり、子どもたちは真剣な表情で話を聞いていました。



県公立図書館連絡協議会で表彰された
読みきかせ団体 細野ママーズ 代表
まえはら なおみ
前原 直美 さん (56)



④ 市立図書館で開催されたイベントでミニママーズが活躍。手際よく準備をしている姿が印象的だった。⑤ 前原さん私物の絵本。「絵本は捨てずに次の世代へ受け継ぐもの」と前原さん。⑥ 小学校で読み聞かせを行う前原さん。

朝8時15分、細野小学校の教室。児童の見つめる先には、色鮮やかな絵本を優しい語り口で読む女性。声の主は、読みきかせ団体「細野ママーズ」代表の前原直美さん(56歳)だ。同団体の主な活動は、月3回、15分間の学校での読みきかせや地域のイベントへの参加。学校関係者からは、「子どもたちの気持ちから落ち着き、生活リズムが整う」と好評だ。これらの活動が認められ、5月に県公立図書館連絡協議会から表彰を受けた。

「細野ママーズの会員や地域の方々の協力があつたからからこそ。皆さんにとっても感謝しています」。前原さんは、同団体が発足した平成16年から活動を続けている。「10年以上続けて来れたのは、子どもたちが喜んでくれるから。だから、毎回の活動が楽しみなんです」。平成28年から、学校の図書室を地域に開放する事業にも携わっている。「純粋に地域に貢献したい、多くの人に読みきかせに親しんでほしいという思いが

「今後は、心豊かな子どもが育つように家庭での読みきかせを広めたり、高齢者や障がい者への読みきかせにも新たに取り組んでみたいと思っています」。細野ママーズが開く次の1ページは、どんな物語が待っているのか楽しみだ。

子どもたちが喜んでくれるから
読みきかせ活動が続けられた。
今後は高齢者や障がい者へ広めたい。

小林
こばやしびと
Vol.79

地婦連が体育まつりで交流深める

6月26日、小林市地域婦人連絡協議会の体育まつりが三ヶ野山体育館で開催されました。同会会員ら約50人が参加し、小林地域と野尻地域に分かれて競技を実施。パン食い競走やスリッパ飛ばしなどが行われ、会員らは笑顔で交流を深めていました。



地域で非行や犯罪を防止

7月2日、第68回社会を明るくする運動の内閣総理大臣のメッセージ伝達式が開催されました。小林地区保護司会や小林地区更生保護女性会、民生委員・児童委員など約90人が出席。非行や犯罪防止のためには、地域のつながりが重要であることを再確認しました。



淵上さんが人権擁護委員を退任

7月13日、人権擁護委員を退任した淵上清子さんに、宮崎地方法務局長感謝状と県人権擁護委員連合会会長感謝状が贈られました。淵上さんは「このような活動に携われたことに感謝しています。この経験をこれからも日常生活で生かしていきたい」と話していました。



小林振武会(剣道)が全国大会へ

7月20日、小林振武会が市長を訪問し、全国大会出場を報告しました。今回出場するのは、男女で構成される団体メンバー5人。主将の大迫雪花さん(三松小6年)は「チーム一丸となって、勝利を目指します」と話していました。



平野遥さん柔道の九州・全国大会出場

6月25日、Jクラブの平野遥さん(南小6年)が市長を訪問し、柔道の九州・全国大会への出場を報告しました。4月、5月に行われた県大会で優勝し、出場権を獲得。平野さんは「自分の柔道をして、悔いのない試合をできるようにがんばります」と話していました。



人権擁護委員に2人が委嘱

7月1日、人権擁護委員に井野真由美さん(写真左)と馬氷裕子さん(写真右)が委嘱されました。毎月「人権・行政・なやみごと相談」を開催していますので、お気軽にご相談ください。相談日は毎月広報こばやしのくらしのカレンダーに掲載しています(今月は27頁に掲載)。



野尻小中生合同でクラシック鑑賞会

7月4日、野尻の小中学校合同で米ニューヨークを拠点に活躍するバイオリニストの加野景子さんを迎えて、クラシック鑑賞会が開催されました。会では、中学生8人による英語のナレーションと加野さんらの共演もありました。



三松小バレースポーツ少年団が九州大会へ

7月20日、三松小男子バレーボールスポーツ少年団が市長を訪問し、九州大会出場を報告しました。6月のた県大会で準優勝し、出場権を獲得。主将の有島正夢音さん(三松小6年)は「九州大会では、優勝を目指します」と抱負を述べました。

